令和5年度 指定管理者モニタリング総合評価表

1. 指定管理者概要

施　　設　　名	江津ひと・まちプラザ パレットごうつ	
指　定　管　理　者	名　称	特定非営利活動法人てごねっと石見
指　定　管　理　期　間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	
市所管課（問合せ先）	地域振興課 地域振興係	
	TEL 0855-52-7926	
	E-mail chiikishinko@city.gotsu.lg.jp	

2. 指定管理者による自己評価（総評）

評　価	貸館件数 昨年度118件／月（1413件）に対し、今年度 111件／月（1331件）で、7件／月（82件）の減となったが、利用料収入は、昨年度 563,692円／月（6,764,310）に対し、今年度 604,037円／月（7,248,450）で、40,345円／月の増加となった。 コロナ禍も落ち着き、イベントや定期的な利用等が増えたことにより、開館以来最多の収入額を更新した。利用者数は、昨年度約136人／日（48,944人）に対し、今年度 約152人／日（54,764人）で、16人／日の増加となった。また市民団体による活動室の利用も年間743回（昨年535件）で、過去最多利用回数を更新した。 主催事業として以下の3つを実施した。 ①GO▸つくる大学事業：令和5年度は34講義、19イベントを開講し、新たに12名が企画者（教授またはつくるマスター）に関わり、講義への参加者数は452名だった。教授・つくるマスターの育成として「つくるゼミ」を 3 回開催し8人がゼミに参加した。 令和5年度は後述の大学生の長期インターンシップを利用し大学生5人が企画に関り6の講義・イベントをつくりだした。また、県外大学生のツアーイベント「大学生のごうつ塾」を2回行い、江津商工会議所や商工観光課と連携し地元企業と大学生の交流会もおこなった。GO›つくる大学通信を作成し、紙媒体で幅広い層へGO›つくる大学の発信をした。 ②フィールドステップアップ事業：ハロウィンイベントでは来場者数850名（昨年800名）、企画ボランティア 5名（昨年6名）、当日ボランティア 20名（昨年14名）、出店者数 27店舗（昨年20店舗）だった。クリスマスイベントでは来場者数650名（昨年600名）、企画ボランティア3名（昨年300名）、当日ボランティア11名（昨年19名）、出店者数27店舗（昨年22店舗）で開催した。 ③ヘルスクリエイト事業：「医大生・看護学生の地域医療にふれる」イベントでは江津市健康医療対策課・一般社団法人しまね地域医療支援センター・食生活改善委員会・都野津街並みの会・江津済生会病院連携し、島根大学医学部：教授2名・学生8名・その他大学専門学生8名・江津高校：3名で江津の地域医療を話し合った。また地域振興課と「コミュニティフェス」を開催し大学生を含む80名が参加し、多世代交流の中で関わり合いを増やすことにより健康につなげる仕掛けづくりをした。
課題と今後の対応	施設管理：利用者数を増やす取り組み。 事業：県立大学生をハブとして県外の大学生の関係人口・活動人口をつくりだす。学びと実践の場を作り出し、年間通じてチャレンジしステップアップしていく仕組みづくり。大学生と企業を結びつける取り組み。

3. 市（施設所管課）の評価（総評）

評　価	施設運営に関しては、過去最多となる利用料収入額を記録するとともに、利用者数及び利用回数も増加傾向にあることから、順調であると評価している。 また、主催事業の実施をとおして、乳幼児から高齢者までのあらゆる人々が憩い、交流し、活動する場を提供することで、中心市街地の賑わいと活力を創出するとともに、地域を担う人づくりや市民活動を促進する拠点として本市全体の活性化と住民福祉の増進に寄与する本施設が果たすべき役割と、設置の目的を十分果たしているものと認められる。
課題と今後の対応	多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するために民間のノウハウやアイデアを活かすことで、市民サービスや費用対効果の向上を図ることが期待される。 世代や地域を超えた交流、まちづくりや市民団体の活動の支援、施設利用者の拡大や新たな使い方について模索し、さらなる江津市全体の活性化に向けて取り組んでいきたい。

4.市(施設所管課)による項目評価

【評価の基準】
◎ …事業計画や仕様書等を遵守し、それを上回る取り組みが行われている。
○ …事業計画や仕様書等に定める取り組みが適切に行われている。
△ …事業計画や仕様書等に定める取り組みが概ね適切に行われているが、改善すべき点がある。
× …事業計画や仕様書等に定める取り組みが行われていない。
－ …評価対象外

評価項目	評価指標	評価
関係法規等の遵守	・法令、条例に基づき、適切な管理を行っている。 ・法令に基づく届出、報告書の提出を適切に行っている。	○
開館時間、休館日等	・条例に基づく「開館時間」や「休館日」が遵守されている。	○
施設管理	・清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	○
	・施設、設備の点検、保守管理を適切に行っている。	○
	・備品の管理を適切に行っている。	○
利用者サービス	・苦情、要望に対して迅速かつ適切に対応している。	○
	・利用者に対し、従事者の言葉使いや身だしなみ等の接遇が適切である。	○
	・利用者に対する案内や受付等、施設利用に係るサービスが適切に行われている。	○
	・特定の利用者を優遇したり、利用を制限したりしていない。	○
サービス・利用の向上	・施設の利用促進、利用者の満足度向上のための取り組みが行われている。	○
	・事業計画に基づいた自主事業等が行われている。	○
人員体制	・適切な人員配置が行われている。	○
	・必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	○
	・組織の指揮、命令系統が明確にされている。	○
	・従事者の教育、研修等が計画的に実施されている。	○
外部委託	・第三者への業務委託は適正に行われている。	○
文書管理・保存	・文書の管理、保存が適切に行われている。	○
連絡・報告	・基本協定等に規定する計画書や報告書等の書類が遅延なく提出されている。また、その内容が適切である。	○
	・市との連絡、調整、報告を適切に行っている。	○
財務・経理事務	・料金の領収や減免等の手続きが適切に行われている。	○
	・経理帳簿や伝票等の保管、現金の取り扱いは適切に行われている。	○
	・管理費用の執行状況は適正である。	○
	・収支状況は妥当である。	○
安全対策・危機管理	・利用者名簿等の個人情報が適切に管理されている。 ・個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	○
	・事故、災害等の対応マニュアルや連絡体制が整備されている。 ・避難訓練等、定期的な訓練を行っている。	○
	・必要な保険に加入している。	○
環境への配慮	・省エネ、ゴミの減量化など、環境への配慮がなされている。	○

項目評価　特記事項　　「△」や「×」の評価がある場合は改善対応を記載